

**Network Power Manager**

# **UPSS-RDBox**

**200V 20Aモデル**

**取扱説明書**

 **UPSソリューションズ株式会社**

M0011190 

# 目次

はじめに：安全上のご注意	-----	1
1 正しくお使いいただくための注意事項	-----	6
2 概要	-----	7
3 外形寸法および各部の名称	-----	8
4 据え付けおよび配線	-----	10
5 運転操作	-----	11
6 保守・点検	-----	15
7 特殊機能	-----	16
8 標準仕様	-----	17
9 主な機能	-----	18
10 オプション品	-----	19

## はじめに

このたびは、Network Power Managerをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様とサービス員\*の安全を守るための重要事項が記載されています。装置を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所に保管してください。

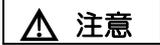
※サービス員・・・当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。

## 安全上のご注意

取扱説明書には、お客様とサービス員の安全を守るための重要な内容が記載されています。据え付け、運転、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、機器の取り扱い、安全の情報そして注意事項について確認してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

表示	表示の意味
 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があること」を示します。

なお、 注意 に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結びつくことがあります。

いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

取扱説明書中の図記号は、次の意味を示します。

図記号	記号の意味
	「してはいけないこと」禁止を示します。
	「必ずしなければならないこと」指示を示します。 具体的な内容は、図記号の中、または近くの文章で示します。  : 必ずしなければいけない事項を示します。  : 必ず接地しなければいけないことを示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な内容は、図記号の中、または近くの文章で示します。  : 一般的に注意する事項を示します。  : 感電する可能性がある注意を示します。  : 火災、発煙の可能性のある注意を示します。

## (1) 移動、輸送および移設時の注意

 注 意	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>移動、輸送および移設時に転倒、落下させないでください。けがのおそれがあります。</li> </ul>	—

## (2) 据え付け上の注意

 注 意	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>本ユニットは、次のような環境での使用、保管は絶対にしないでください。 装置故障、損傷、劣化などによって、火災などの原因になることがあります。               <ol style="list-style-type: none"> <li>カタログ、取扱説明書に記載の周囲環境条件から外れた高温、低温、多湿となる場所 (適切な設置環境：温度:0~40℃、相対湿度:20~90%)</li> <li>直射日光が当たる場所</li> <li>ストーブなどの熱源から熱を直接受ける場所</li> <li>振動、衝撃の加わる場所</li> <li>火花が発生する機器の近傍</li> <li>粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所</li> <li>屋外</li> </ol> </li> </ul>	 6
<ul style="list-style-type: none"> <li>据え付けは、デスクなどの平面、または19インチラックに説明書どおりに行ってください。 据え付けに不備があると、落下などによりけがのおそれがあります。</li> </ul>	 10

## (3) 配線上の注意

 注 意	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>アース線を指定の方法(入力プラグ)で確実に接続してください。 本装置はD種接地工事が必要です。 アースを規定の接地種別で接続しない場合には感電のおそれがあります。</li> </ul>	 11
<ul style="list-style-type: none"> <li>本ユニットの出力側に接続される負荷機器<sup>*</sup>のアースは、出力コンセントに接続してください。 負荷機器のアースを接続しない場合には、感電のおそれがあります。</li> </ul>	

※ 負荷機器・・・コンピュータなど本ユニットへ接続する装置

#### (4) 使用上の注意

 <b>警告</b>		参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユニットから異臭、異音がしたとき、また故障したときは、すぐに電源ケーブルを抜いてください。火災の原因になることがあります。</li> <li>• ユニットのカバーは開けないでください。感電、および事故のおそれがあります。</li> </ul>	 	6
 <b>禁止</b>		参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次のような用途には絶対に使用しないでください。               <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 人命に直接関わる医療機器などへの使用</li> <li>b. 人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベータなどの制御機器への使用</li> <li>c. 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用</li> <li>d. これらに準ずる装置</li> </ul>               上記負荷設備への使用に該当する場合は、事前に購入先または当社にご相談ください。                人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理について特別な配慮が必要となります。             </li> <li>• ユニット周辺での喫煙、火気の使用はしないでください。 爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>• ユニットのの上に花瓶など水の入った容器を置かないでください。 花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電、装置内部からの火災の原因になることがあります。</li> <li>• ユニットのの上に腰掛ける、乗る、踏み台にする、寄りかかる、ということはしないでください。</li> <li>• 濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電のおそれがあります。</li> <li>• ユニットの改造、分解、修理はしないでください。装置内部は高電圧箇所などがあり、サービス員以外が装置のカバーを開けたり、修理などの保守作業をすると感電など事故の原因となります。 これらの場合は保証の対象外となります。</li> </ul>		—
 <b>注意</b>		参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本ユニットを起動する前に接続装置側の安全を確認し、取扱説明書に従って運転操作を行ってください。不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。</li> </ul>		6

#### (5) 保守・点検上の注意

 <b>注意</b>		参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• サービス員以外は、内部の点検、修理をしないでください。 感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。</li> <li>• ユニットの修理または故障部品の交換は、購入先またはサービス会社へ依頼してください。 カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。</li> <li>• ユニットの出力コンセント部に金属棒や指などで触らないでください。 感電のおそれがあります。</li> </ul>	  	—

#### (6) その他の注意事項

 <b>注意</b>		参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本ユニットは日本国内仕様品です。国外での使用については別途お問い合わせください。 日本国内仕様品を国外で使用すると、電圧、使用環境が異なり発煙、発火の原因になることがあります。</li> <li>• 本ユニットを廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。</li> </ul>		巻末

## 保証について

本ユニットは下記に記載の保証規定により「購入後1年間は無償修理」とし、1年間経過したものは有償とさせていただきます。

## 無償保証規定について

- (1) 保証期間中に取扱説明書に従った正常な使用状態で本装置が故障した場合には無償修理させていただきます。
- (2) 故障の際はご購入の販売店または当社本社・支店等（巻末）へご連絡ください。
- (3) 保証期間中でも、次のような場合には有料修理となります。
  - ①ご使用の誤り、または不当な修理や改造、誤接続による故障および損傷。
  - ②火災・地震・風水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障および損傷。
  - ③ご購入後の輸送や移動および落下など、不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷。

## 電波障害の防止について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使用前の確認について

包装を開きましたら、包装内容をご確認ください。なお、万が一異常がありましたら、販売店または当社営業所までご連絡ください。

[包装内容]

(1) ユニット本体 200V 20Aモデル 1台

(2) 添付品

UPSS-RD4BoxIEC20A2

添付品	数量	備考
取扱説明書	1	
19インチラックマウント金具（右・左）	各1	
取付ねじ（M3）	4	
PC/WS シリアルインタフェースケーブル Dsub9 ピンメスーDsub9 ピンメス、 長さ：3m	1	00621685-01 （固定ネジ：インチネジ）
出力コンセントのケーブル固定具	4	

UPSS-RD8BoxIEC20A2

添付品	数量	備考
取扱説明書	1	
19インチラックマウント金具（右・左）	各1	
取付ねじ（M3）	4	
PC/WS シリアルインタフェースケーブル Dsub9 ピンメスーDsub9 ピンメス、 長さ：3m	1	00621685-01 （固定ネジ：インチネジ）
出力コンセントのケーブル固定具	8	

※ 「ユーザガイド」および「プライベートMIB」は添付されていないので、巻末の当社 Web サイトからダウンロードしてください。

## 1 正しくお使いいただくための注意事項

### 1.1 入力電源についての注意

- (1) 交流入力電源は装置定格(170~250V 以内、50 または 60Hz)に合わせて使用してください。
- (2) 入力電源容量は 20A 以上としてください。

### 1.2 設置時の注意

入力側には、20A 以上の容量のブレーカを設置してください。また、漏電ブレーカを設置する場合は、感動電流にご注意ください。本ユニットの漏れ電流は、約 1mA です。

### 1.3 取り扱い上の注意

- (1) 出力回路の短絡、または短絡電流の流れる接続装置（出力コンセントに接続する機器）の接続は絶対にしないでください。保護機能動作などにより、出力が供給できなくなります。
- (2) 入力電源について  
本ユニットには、電力保護機能がありません。したがって、停電時はもとより瞬時電圧低下などにより、本ユニットの出力リレーがオフすることがあります。電力保護が必要な場合は、無停電電源装置をご使用ください。
- (3) 接続禁止装置について  
レーザープリンタ、普通紙ファックス、コピー機、OHP などの装置はヒータ加熱のため大きな電流が流れて過電流になり、本ユニットを破壊するおそれがあります。
- (4) 絶縁試験について  
屋内配線の絶縁試験を行う場合は、本ユニットを停止して入出力配線を外してから行ってください。配線したまま試験を行うと、内蔵の避雷器など電子部品を破損する恐れがあります。

### 1.4 故障時の対応について

下記のような異常が生じた場合は、販売店または当社営業所まで連絡してください。

- ① STATUS の LED が緑色で点灯しない場合
- ② STATUS の LED が赤色で点灯または点滅している場合
- ③ OUTPUT MONITOR の LED 表示が実際の状態と異なる場合
- ④ その他、異常と判断されることが起きた場合

## 2 概要

本ユニットは、出力コンセントにコンピュータやハブ、ルータのようなネットワーク機器を接続して、遠隔端末からの制御やスケジュール運転により、電力消費の削減や自動化運転などを行うものです。本ユニットには、UPSS-RD4BoxIEC20A2 と UPSS-RD8BoxIEC20A2 があり、それぞれの用途に応じて使い分けできます。以降、UPSS-RD4BoxIEC20A2 をタイプ A、UPSS-RD8BoxIEC20A2 をタイプ B といいます。

タイプ A の使用例を図 1 に、タイプ B の使用例を図 2 に示します。

タイプ A は、4 つの出力コンセントとこれに対応した 4 つのシリアルポートを持ち、個別にオン/オフ/リセットの制御ができます。制御は、遠隔端末上の Web ブラウザから行えます。また、電源を切る際にシャットダウン制御が必要なコンピュータを接続することができます。

タイプ B は、出力コンセント数が 8 個で、ハブやルータのようにコンピュータより消費電力が小さく、かつ、シャットダウン制御の必要がないものを接続したり、UNIX/Linux コンピュータのように、LAN 経由でシャットダウン制御を行う装置を接続するため、シリアルポートはありません。出力コンセントは、タイプ A と同様に個別にオン/オフ/リセットの制御を遠隔端末上の Web ブラウザから行えます。

接続装置の最大使用電力は 2000W ですが、タイプ A は出力コンセント 1 と 2 の合計もしくは 3 と 4 の合計、タイプ B は出力コンセント 1~4 の合計もしくは 5~8 の合計が 2000W を超えないようにしてください。

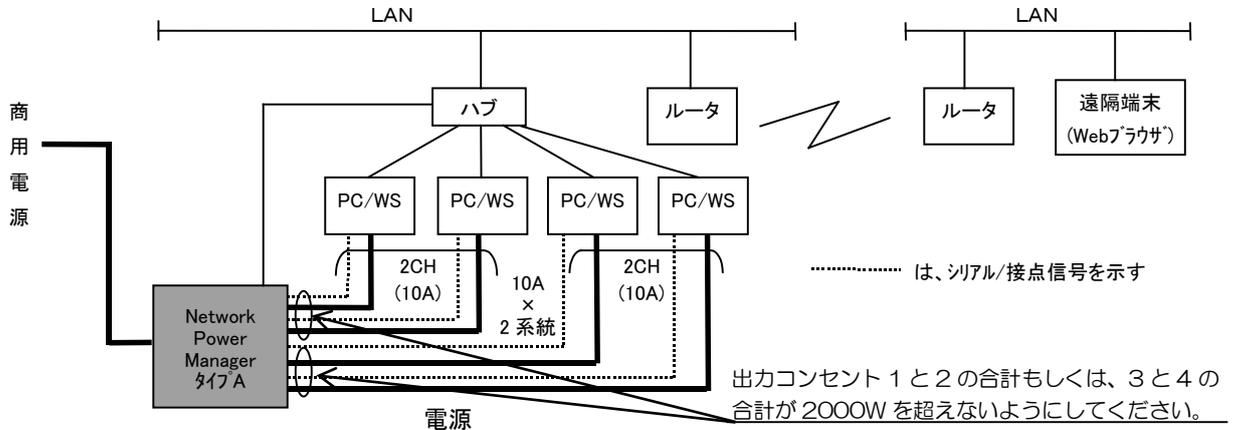


図 1 タイプ A の使用例

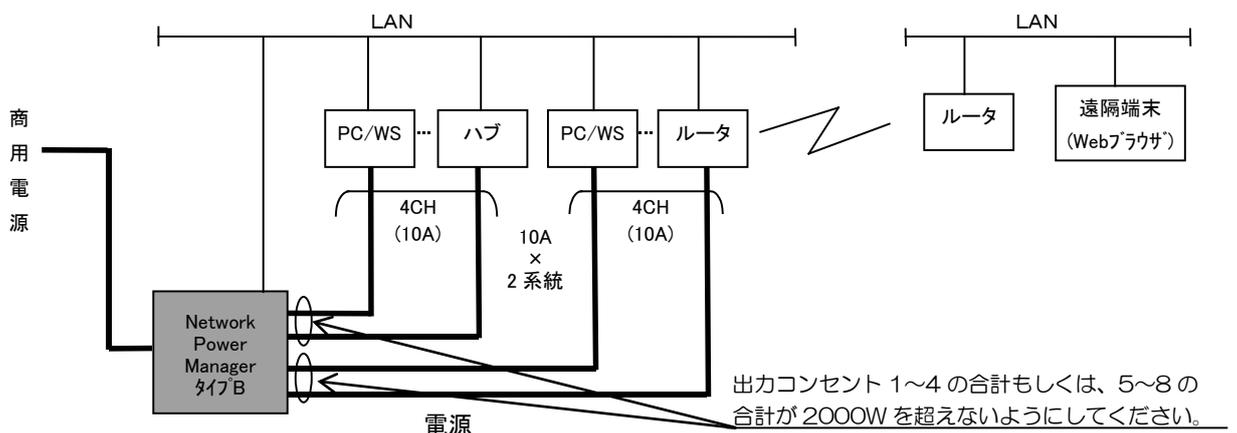


図 2 タイプ B の使用例

### 3 外形寸法および各部の名称

#### 3.1 タイプ A

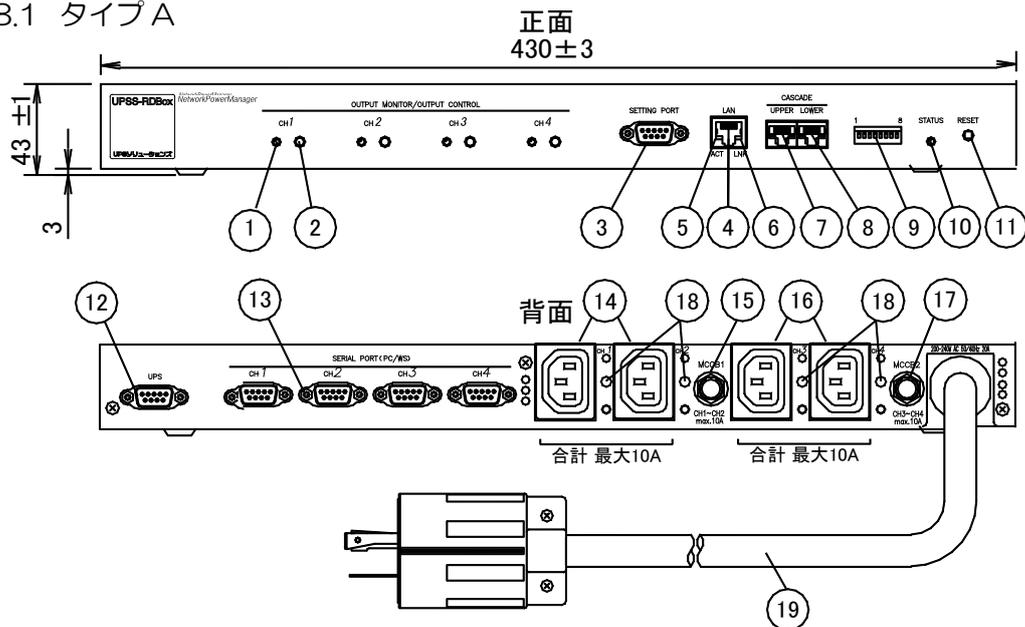


図3 タイプ A 外観図

番号	名称	本体の表示	機能
①	出力表示用 LED	OUTPUT MONITOR CH1~CH4	出力状態の表示 出力制御受付時点滅
②	出力制御用スイッチ	OUTPUT CONTROL CH1~CH4	出力の制御
③	設定用コネクタ	SETTING PORT	設定用 PC 接続用
④	LAN I/F 用コネクタ	LAN	ネットワークケーブル接続用
⑤	データ送信表示用 LED	ACT	データ送信時点灯
⑥	接続状態表示用 LED	LNK	ネットワーク接続状態の表示
⑦	カスケード 接続用コネクタ	CASCADE UPPER	上位装置とのカスケード 接続用
⑧		CASCADE LOWER	下位装置とのカスケード 接続用
⑨	ディップスイッチ	1 8	設定用
⑩	運転状態表示用 LED	STATUS	CPU 正常時 緑点灯 CPU 故障時 赤点灯
⑪	リセットスイッチ	RESET	CPU リセット
⑫	UPS 接続用コネクタ	UPS	UPS の転送信号接続用
⑬	外部接続用コネクタ	SERIAL PORT(PC/WS) CH1~CH4	PC/WS 接続用
⑭	出力コネクタ 1,2	CH1,CH2 CH1+CH2 max.10A	2P 接地型コネクタ 10A IEC 60320 C13
⑮	配線用遮断器 1	MCCB1 10A	過電流保護 CH1+CH2 合計 最大 10A
⑯	出力コネクタ 3,4	CH3,CH4 CH3+CH4 max.10A	2P 接地型コネクタ 10A IEC 60320 C13
⑰	配線用遮断器 2	MCCB2 10A	過電流保護 CH3+CH4 合計 最大 10A
⑱	ケーブル固定具取付穴	—	抜け止め
⑲	入力ケーブル	200-240V AC 50/60Hz 20A	入力プラグ NEMA L6-30P ケーブル長：4m

### 3.2 タイプB

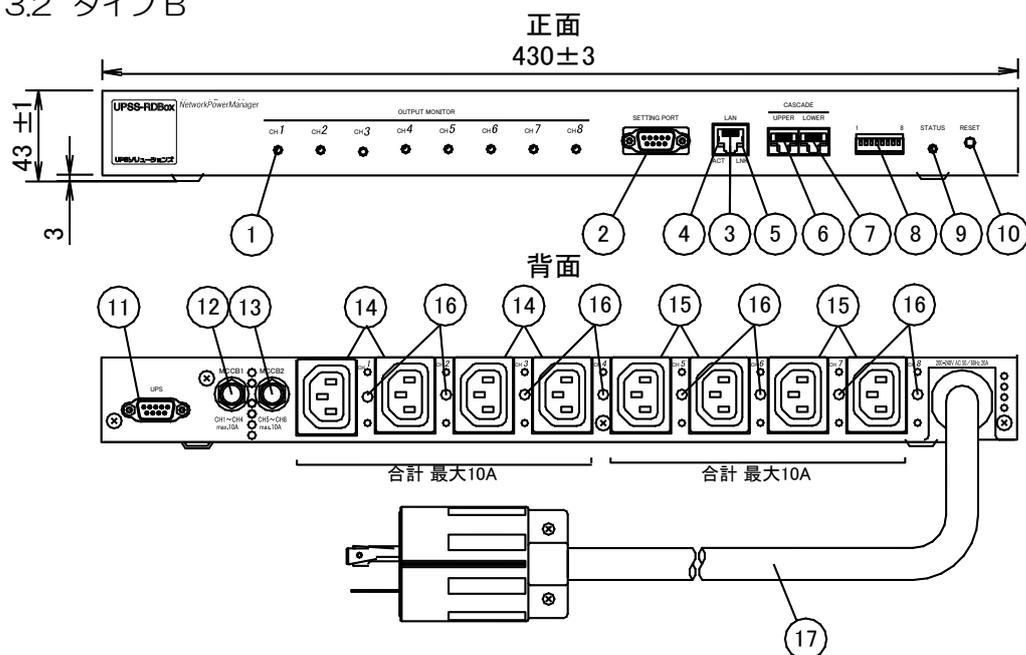


図4 タイプB 外観図

番号	名称	本体の表示	機能
①	出力表示用 LED	OUTPUT MONITOR CH1～CH8	出力状態の表示 出力制御受付時点滅
②	設定用コネクタ	SETTING PORT	設定用 PC 接続用
③	LAN I/F 用コネクタ	LAN	ネットワークケーブル接続用
④	データ送信表示用 LED	ACT	データ送信時点灯
⑤	接続状態表示用 LED	LNK	ネットワーク接続状態の表示
⑥	カスケード 接続用コネクタ	CASCADE UPPER	上位装置とのカスケード 接続用
⑦		CASCADE LOWER	下位装置とのカスケード 接続用
⑧	ディップスイッチ	1 8	設定用
⑨	運転状態表示用 LED	STATUS	CPU 正常時 緑点灯 CPU 故障時 赤点灯
⑩	リセットスイッチ	RESET	CPU リセット
⑪	UPS 接続用コネクタ	UPS	UPS の転送信号接続用
⑫	配線用遮断器 1	MCCB1 CH1～CH4 max.10A	過電流保護 CH1～CH4 合計 最大 10A
⑬	配線用遮断器 2	MCCB2 CH5～CH8 max.10A	過電流保護 CH5～CH8 合計 最大 10A
⑭	出力コネクタ 1,2,3,4	CH1,CH2,CH3,CH4	2P 接地型コネクタ 10A IEC 60320 C13
⑮	出力コネクタ 5,6,7,8	CH5,CH6,CH7,CH8	2P 接地型コネクタ 10A IEC 60320 C13
⑯	ケーブル固定具取付穴	—	抜け止め
⑰	入力ケーブル	200-240V AC 50/60Hz 20A	入力プラグ NEMA L6-30P ケーブル長：4m

## 4 据え付けおよび配線

### 4.1 据え付け

据え付け方法は、デスクのような平面に設置する方法と、19インチラックに設置する方法があります。デスクのような平面に設置する場合は、固定ができませんので、落下のおそれのない場所においてください。19インチラックに設置する場合は、付属の19インチラックマウント金具を本体に取り付けた後、ラックに固定します。付属の19インチラックマウント金具は、本体の正面または背面のどちらの方向からも取り付けができます。正面取り付け時は、0から最大12.5cmまで（2.5cm幅で5段階）、背面取り付け時は、0から最大10cm（2.5cm幅で4段階）までラック支柱からオフセットを設けることができます。下図を参照してください。

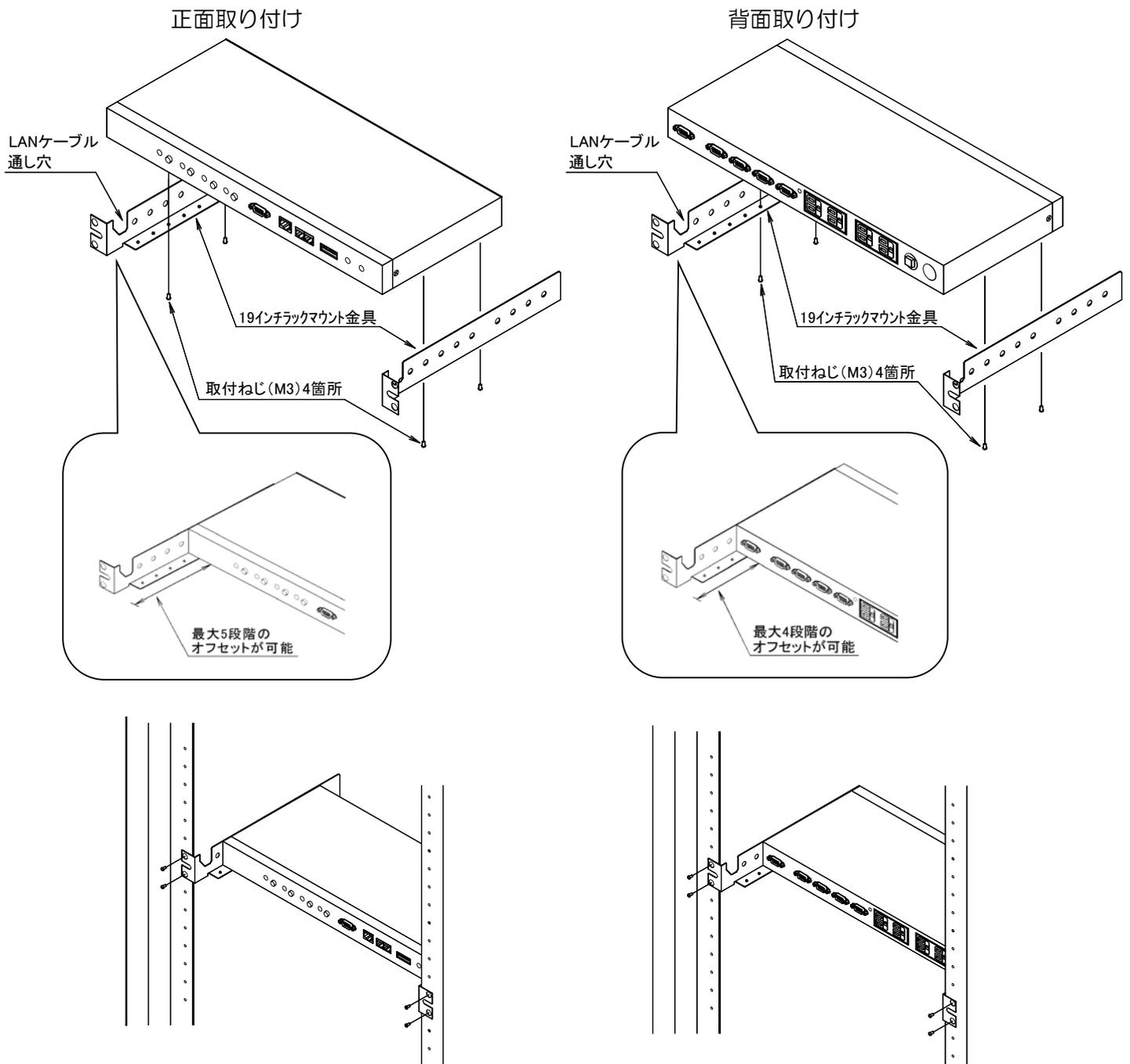


図5 ユニット取付け図

## 4.2 配 線

- (1) 入力プラグは無停電電源装置（以下、UPS という）の出力コンセント、または、商用電源コンセントへ接続してください。なお、本ユニットは電源を入／切するスイッチがないため、入力プラグを差し込むと運転を開始しますので注意してください。
- (2) 入力プラグは 2 極接地極付です。商用電源コンセントが 2 極コンセント（接地極のない）の場合には接地アダプタにより設置を行ってください。
- (3) ユニット正面の D-Sub 9 ピンコネクタに添付のシリアルインタフェースケーブルを接続してください。
- (4) ユニット正面の「LAN」のコネクタに、ネットワークインタフェースケーブルを接続してください。なお、本ユニットの「LAN」のコネクタは通信速度（100Mbps／10Mbps）を自動認識する設定となっております。通信速度の設定が変更可能な HUB に、本ユニットを接続する場合には、本ユニットを接続したポートの通信速度の設定を、自動認識に設定してください。自動認識の設定がない場合には、100Mbps／半二重、または 10Mbps／半二重で接続してください。

## 5 運転操作

### 5.1 運転前の準備

運転前に次の確認をしてください。

- ① 入力プラグを挿入する前に、電源が本ユニットの仕様にあっているか確認してください。
- ② ユニットの外観に損傷や変形がないことを確認してください。
- ③ 正面のディップスイッチが、すべて「OFF」になっていることを確認してください。

### 5.2 運転操作

#### (1) 運 転

- (A) 入力プラグを電源に差し込みます。
- (B) 約 10 秒間「STATUS」の LED が緑色で点滅し、その後連続点灯に変わります。
- (C) (B) と同時に出力コンセントに電源が出力されます。これは、OUTPUT MONITOR 用の LED が緑色に点灯したことにより確認できます。

#### (2) アドレスの設定

本ユニットをネットワーク上で動作させるためには、IP アドレスを設定する必要があります。出荷時のデフォルトの IP アドレスは、「192.168.1.1」ですので、通常は設置する環境に対応した値に変更する必要があります。IP アドレスの変更は、ユニット正面の設定用コネクタのシリアルポート、または、LAN I/F 用コネクタの LAN ポートか

ら行うことができます。シリアルポートを介して変更する場合は、ターミナルソフトウェアを、LAN を介して変更する場合は、Telnet または Web ブラウザを利用します。変更の手順は、以下のとおりですが、詳細については、「ユーザガイド」を参照してください。

(A) LAN を介して行う場合

- ① 本ユニット正面の LAN I/F コネクタにネットワークケーブルを接続します。
- ② ネットワークセグメントのクラス設定などの理由により、設定用 PC が本ユニットと直接通信できない場合は、設定用 PC のコマンドプロンプトウィンドウから以下のコマンドを実行してください。

```
route add 192.168.1.1 MASK 255.255.255.255 <PC の IP アドレス>
```

これで、PC との通信ができるようになります。

- ③ Telnet または Web ブラウザのいずれかを使用して PC と本ユニットを接続し、IP アドレスを変更してください。

なお、出荷時のアカウントは次のとおりです。

ユーザ名： MtAdmin (大文字小文字を区別しません)

パスワード： MtAdmin (大文字小文字を区別します)

(B) シリアルポートを介して行う場合

- ① 本ユニット正面の設定用コネクタと設定用 PC を添付のケーブルで接続します。  
(ケーブルのコネクタ表示が「UPS」になっている方を設定用コネクタへ接続します)

- ② 通信ポートは以下のように設定してください。

・ 伝送速度： 9600bps

・ データビット長： 8 ビット

・ パリティ： なし

・ ストップビット： 1 ビット

・ フロー制御： なし

- ③ リターンキーを押下するとアカウント入力を求められますので、出荷時のアカウントを入力してメニューを表示し、IP アドレスを変更してください。

(3) 動作確認テスト

- (A) 本ユニットをネットワークに接続した後、Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを起動して本ユニットに接続します。出荷時のアカウントは次のとおりです。

ユーザ名： MtAdmin (大文字小文字を区別しません)

パスワード： MtAdmin (大文字小文字を区別します)

操作方法については、「ユーザガイド」を参照してください。

- (B) 各チャンネルを制御して、出力がオンまたはオフするか確認してください。

### 5.3 設定

出力コンセントに接続する装置により、「ユーザガイド」に従って設定してください。

### 5.4 接続装置の接続

#### (1) タイプ A

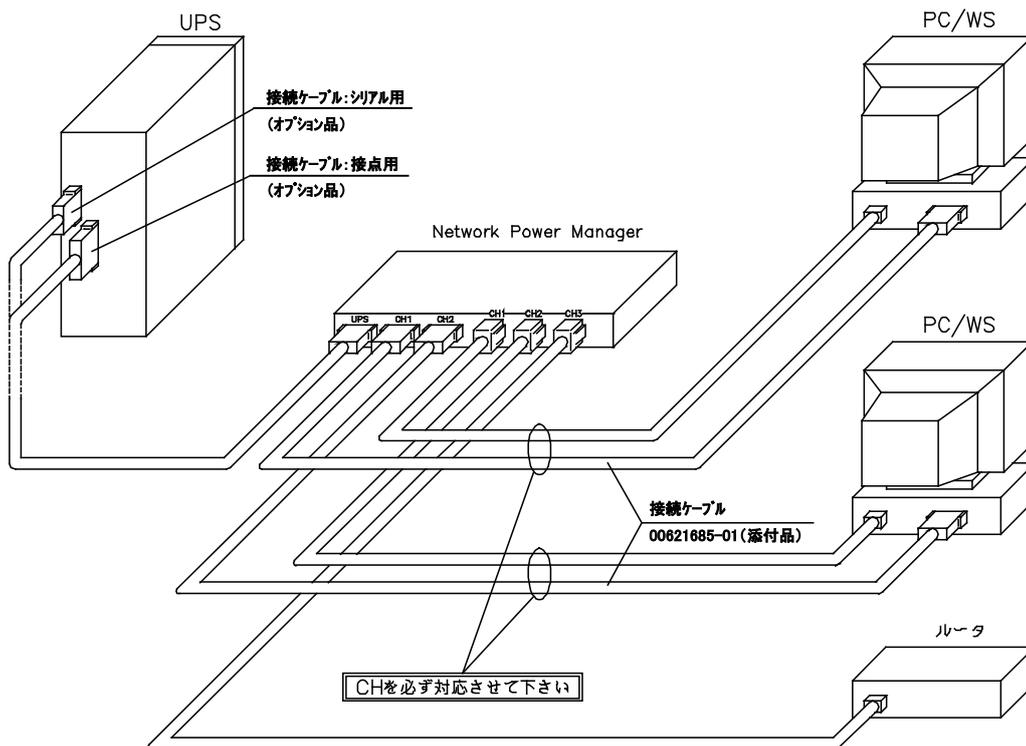
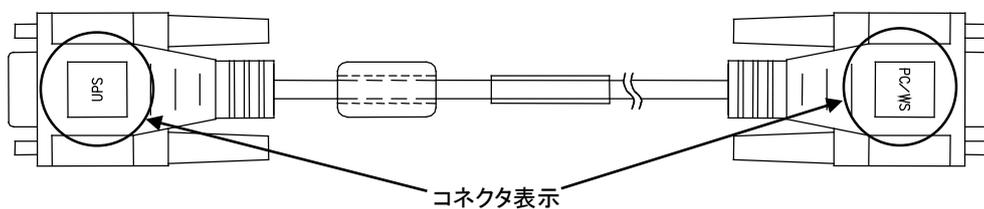


図6 タイプ A 接続例

添付の接続ケーブルは、ケーブルのコネクタ表示をもとに、下表の接続先へ接続してください。



コネクタ表示	接 続 先
UPS	Network Power Manager
PC/WS	PC/WS

(2) タイプ B

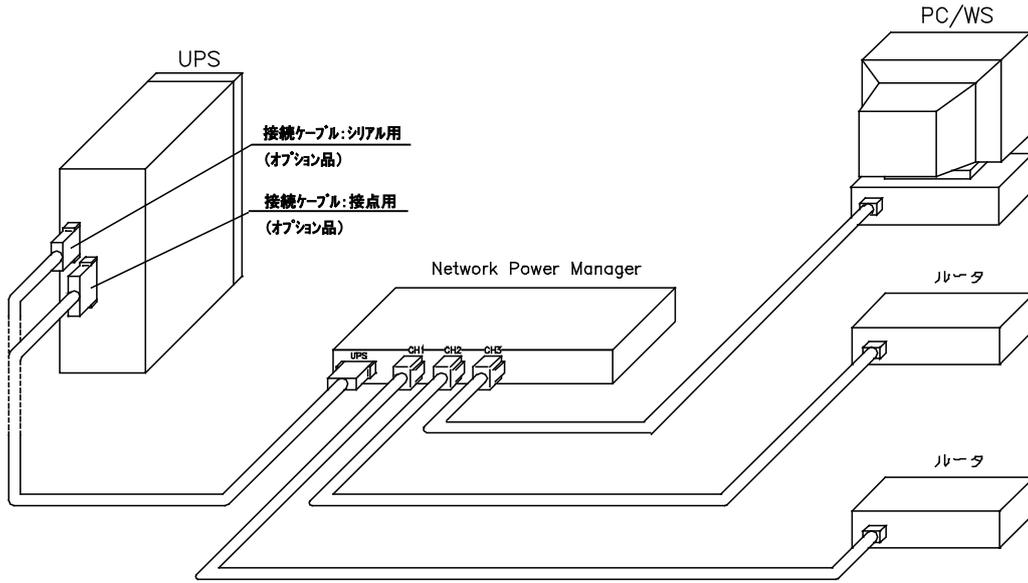
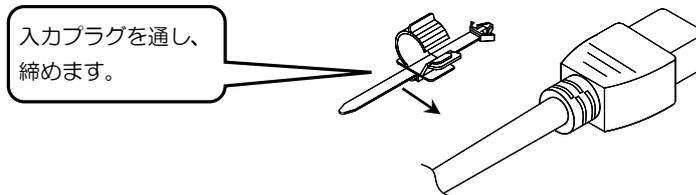


図7 タイプ B 接続例

(3) ケーブル固定具の取付

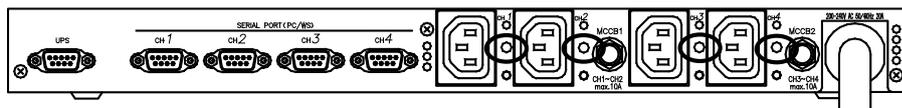
出力コンセントへ接続した負荷機器の入カプラグが抜けないように固定します。

- ① 接続する負荷機器の入カプラグに添付品のケーブル固定具を取り付けます。

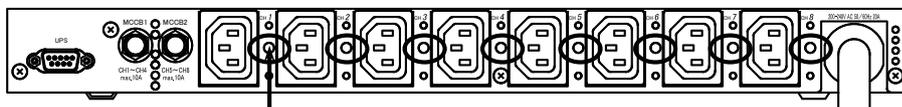


- ② 接続する負荷機器の入カプラグを出力コンセントへ接続します。

タイプ A



タイプ B



ケーブル固定具を穴に差し込み、  
負荷機器の入カプラグを接続します。

ケーブル固定具は、  
一度取り付けると抜けません。  
負荷機器の入カプラグを外す場合は、  
下図のように締付部をゆるめてください。

ツメを押します。

## 5.5 Web ブラウザからの操作

「ユーザガイド」を参照してください。

## 5.6 手元での操作（タイプ A のみ）

ユニット正面の各チャンネルに対応した押しボタンスイッチを約 5 秒間押しつづけると、出力コンセントの制御が行えます。電源が、「入」の状態ですwitchを押すと「切」の操作を、「切」の状態ですwitchを押すと「入」の操作となります。

## 5.7 OUTPUT MONITOR 用 LED の表示

出力コンセントがオンしている時： 緑の点灯

出力コンセントがオフしている時： 消灯

オフ遅延およびオン遅延時間中： 赤の点滅

## 6 保守・点検

本ユニットは、表示灯の点灯状況に異常がないことを確認していただくだけで、特に点検、手入れの必要はありません。

また、定期交換部品もありません。

## 7 特殊機能

本ユニットを複数使用してカスケード接続することにより、1 台の UPS の出力に多数の PC/WS を接続することができます。概念図を図8に示します。

1 台目のユニットは、UPS からシリアル信号または接点信号で「停電」および「バッテリー電圧低下」信号を受信し、シャットダウン処理開始時に、2 台目のユニットに接点信号でシャットダウン要求を送信します。2 台目のユニットは、シャットダウン要求を受信したら3 台目のユニットにシャットダウン要求を送信するというように、次々に信号の転送を行います。これにより、停電が発生した場合などに、PC/WS を安全にシャットダウンしてから UPS を停止することができます。

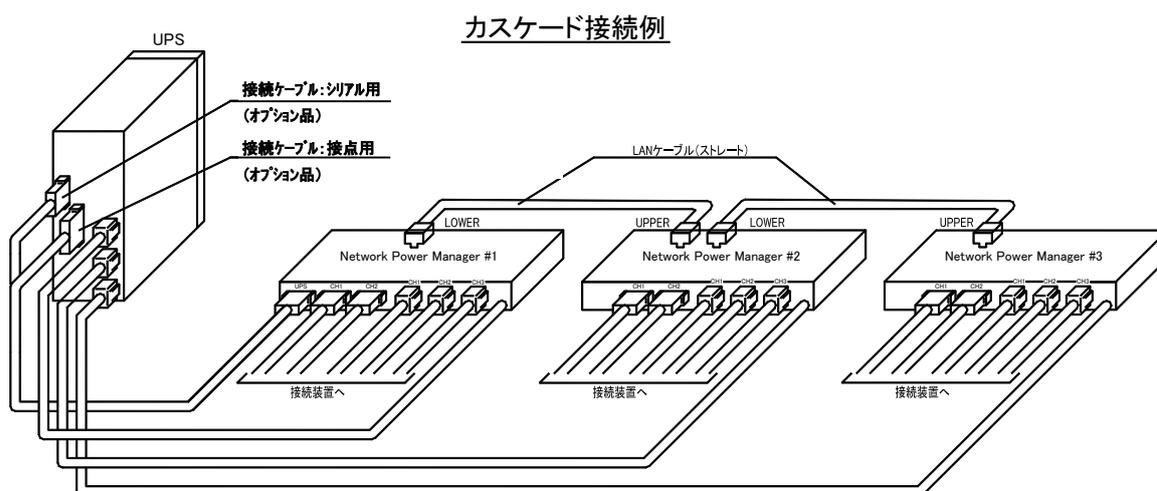


図8 カスケード接続例

ユニット間の接続は、下記のとおり行ってください。

- ① UPS のシリアル通信用コネクタ、または、外部信号出力用コネクタと 1 台目のユニットの UPS 接続用コネクタ（裏面）を接続する。
- ② 1 台目のユニットの正面の CASCADING LOWER コネクタと 2 台目のユニットの正面の CASCADING UPPER コネクタをストレートの LAN ケーブル（カテゴリ 3 以上、100m 以内）で接続する。
- ③ 以下同様に、3 台目、4 台目と接続する。
- ④ Web ブラウザの基本設定画面内の「連携設定」では、以下の設定を行ってください。
  - ・ 1 台目のユニット：接続する UPS により「接点接続」または「シリアル接続」のどちらかを選択する。
  - ・ 2 台目以降のユニット：「上位装置とカスケード接続する」を選択する。
- ⑤ 「停電確認時間」および、各接続装置の「シャットダウン遅延時間」「オフ遅延時間」を設定する際は次のことを注意してください。
  - ・ 「停電確認時間」は 1 台目のユニットに設定された値で動作します。
  - ・ カスケードされた全てのユニットの中で、「シャットダウン遅延時間」+「オフ遅延時間」が一番長い出力コンセントが出力オフしたのを確認した後、UPS を停止します。

## 8 標準仕様

項目	UPSS-RD4BoxIEC20A2 200V 20Aモデル	UPSS-RD8BoxIEC20A2 200V 20Aモデル	備考
入力電圧	200～240V	200～240V	
許容入力電圧	170～250V	170～250V	
入力周波数	50/60Hz	50/60Hz	
過電流保護	リセット可能型ブレーカ(10A) 2個 (CH1+CH2 用, CH3+CH4 用)	リセット可能型ブレーカ(10A) 2個 (CH1～CH4 用, CH5～CH8 用)	
出力コンセント	ノンロック式コンセント × 4個	ノンロック式コンセント × 8個	
最大総電流容量	20A (10A×2系統)	20A (10A×2系統)	
寸法	43(高さ)×430(幅)×205(奥行き)	43(高さ)×430(幅)×205(奥行き)	
19 インチラック搭載	可	可	
PC/WS 接続用シリアルポート	4ポート	なし	
シャットダウン対応 OS	Windows, UNIX, Linux, NetWare	Telnet/SSH ログイン可能な OS	注1
遠隔からの出力制御	あり	あり	
スケジュール運転	あり	あり	
UPS とのインタフェース	あり	あり	
UPS 交流入力異常時の出力オフ制御	あり	あり	
出力オフ時のシャットダウン制御	あり	あり	
カスケード接続	可	可	
手元スイッチによる出力制御	あり	なし	
DHCP 対応	あり	あり	
リング信号送出	あり	なし	注2
WakeOnLAN 送出	あり	あり	注2
遠隔プログラム更新	あり	あり	
「SANUPS SOFTWARE COMBINATION」による一括管理	可	可	注3

(注1) 詳しくはユーザガイドをご確認ください。

(注2) リング信号/WakeOnLAN とは電源を投入しただけでは立上らないパソコンを起動するために送出する信号です。

(注3) 一部、設定/参照できない機能があります。

## 9 主な機能

### (1) 遠隔管理機能

Java 対応の Web ブラウザ、または、telnet 端末から、Network Power Manager を管理できます。また、各出力コンセントの状態を確認することもできます。そのため、Network Power Manager まで足を運ぶ必要がありません。以下に示す作業および関連する設定は、全て遠隔から実行できます。

また、Network Power Manager はネットワークからのアクセスに対して**ユーザ名**および**パスワード**で認証を行いますので、不正なアクセスを防止できます。

### (2) 遠隔制御機能

接続装置の異常によるリポートや、緊急の場合などに、手動で出力コンセントのオン/オフを遠隔から行うことができます。（出力コンセントにコンピュータが登録されている場合、出力コンセントをオフする前に接続コンピュータの自動シャットダウン処理を行います）

### (3) コンピュータの自動シャットダウン機能

Network Power Manager の出力コンセントから電力供給を受けているコンピュータに対し、出力コンセントをオフする場合、コンピュータも自動的にシャットダウンし安全に停止することができます。シャットダウンできるコンピュータは NetWare および UNIX/Linux が対象となります。

※Windows シャットダウンには、別途ソフトウェアが必要です。

### (4) UPS 連携機能

Network Power Manager を UPS と接続すると、停電発生、バッテリー電圧低下の情報を受け、接続装置の出力コンセントをオフします。また、全ての出力コンセントがオフした後に、UPS の出力をオフし、UPS のバッテリー保護を行えます。（出力コンセントにコンピュータが登録されている場合、接続コンピュータの自動シャットダウン機能が利用できます）

### (5) スケジュール運転機能

出力コンセント毎にオン/オフのスケジュールを設定することにより、各出力コンセントのオン/オフを自動的に行うことができます。

（出力コンセントにコンピュータが登録されている場合、接続コンピュータの自動シャットダウン機能が利用できます）

### (6) 出力グループ管理機能

複数の出力コンセントをグループ化することにより、出力コンセントの一括制御やグループ内で出力コンセントのオン/オフを遅延させることができます。

### (7) SNMP エージェント機能サポート

SNMP エージェント機能(UPS 標準 MIB:RFC1628)をサポートしていますので、SNMP マネージャからも Network Power Manager の監視や制御ができます。また、プライベート MIB<sup>(注1)</sup>も用意しており、より高度な監視、制御を行うこともできます。さらに、セキュリティを向上させるために、特定のコンピュータからの要求だけを受け付けるよう設定できます。

（注1）「プライベート MIB」をご希望の際は、巻末の当社 Web サイトからダウンロードしてください。

(8) Network Power Manager の動作履歴の記録

停電や故障だけでなく、Network Power Manager に対するさまざまなアクセスも記録できます。

(9) ターミナル機能

設定用ポートに接続したシリアル端末から、Network Power Manager の設定および制御を行うことができます。

(10) 外部接点による出力制御機能

外部からの接点信号により、Network Power Manager の各出力コンセントのオン/オフ制御を行うことができます。

(11) コンピュータ自動起動への対応

シャットダウンを行ったコンピュータが WakeOnLAN 機能、または Ring 信号に対応している場合は、出力コンセントがオンした際、WakeOnLAN 機能、または Ring 信号により、そのコンピュータの電源オンを行うことができます。

(12) 装置状態監視機能（死活監視機能）

ネットワークを介し、Ping 応答による装置状態監視、または、接続したシリアル信号（DSR または CTS）の電圧極性による装置状態監視を行います。装置状態監視により異常を検出した場合には管理者に異常を通知し、出力オフ、リセット等のコンセント制御を行うことができます。

(13) E-Mail 送信機能

Network Power Manager の状態変化等の情報を管理者に E-Mail 通知することができます。UPS と連携した場合には、停電の発生、UPS の異常等、UPS の状態変化の情報を管理者に E-Mail 通知することができます。

また、メールでの問い合わせにより、Network Power Manager の状態、設定等、UPS と連携した場合には、UPS の状態/計測値情報等を受け取れます。

(14) Network Power Manager 設定情報のダウンロード/アップロード

Network Power Manager に設定した情報をファイル形式でダウンロードできます。Network Power Manager の交換時に設定ファイルを読み込ませることで交換前の Network Power Manager と同じ設定値で動作することができます。

(15) NTP (Network Time Protocol) 対応による自動時計合わせ

NTP サーバを利用し、Network Power Manager の時計合わせを自動で行えます。

(16) 転送速度（100Mbps/10Mbps）の自動認識

## 10 オプション品

本ユニットを UPS と接続する場合、PC/WS と 2 台以上ケーブル接続する場合、下記の専用ケーブルが別途必要になります。なお、型番等につきましては別途お問い合わせください。

- ① UPS とシリアル通信で接続するケーブル
- ② UPS と接点信号で接続するケーブル
- ③ PC または WS を接続するケーブル



## UPS ソリューションズ株式会社

【本社】〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第 3 ビル

TEL : 03-5833-4061 FAX : 03-3861-0920

テクニカル・サポートグループ

【北海道営業所】〒060-0004

札幌市中央区北4条西 12-1-28 北 4 条ビル 7F

TEL : 011-280-0015 FAX : 011-280-0016

【中部営業所】〒464-0074

名古屋市千種区仲田 2-15-12 ワークビル 4F

TEL : 052-734-9200 FAX : 052-734-9500

【西日本支店】〒532-0011

大阪市淀川区西中島 6-11-25 第 10 新大阪ビル 6F

TEL : 06-6838-4881 FAX : 06-6838-4882

【九州営業所】〒812-0011

福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第 7 岡部ビル 3F

TEL : 092-481-3441 FAX : 092-481-3442

[http:// www.ups-sol.com/](http://www.ups-sol.com/)      [support@ups-sol.com](mailto:support@ups-sol.com)

受付時間 平日 9:00～18:00 (当社休日を除く)

本取扱説明書に記載された会社名と商品名は、それぞれ各社の称号、商標または登録商標です。

※本取扱説明書記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各種ダウンロード URL <http://www.ups-sol.com/download/index.html>